

ョートステイ事業も始まります。港エリアには多くの事業部門があることが強みです。それぞれの事業所が専門性を高めて連携し、多様なニーズに応えられるよう職員一同頑張っまいますので、よろしくお願ひします。



### 就職を諦めない就労継続支援B型事業所

港第二育成園  
管理者 窪田 真一

花の盛りもすぎ、日中は少し汗ばむほどの季節となりました。平成27年4月より港第二育成園は就労移行支援事業所で1名、就労継続支援B型事業所で1名、計2名の新たな利用者さんを迎え、新年度をスタートさせました。



就労移行支援事業所で昨年度就労した3名は特にトラブルもなく新年度を迎え順調に企業人として活躍されています。

就労継続支援B型事業所では、昨年10月から徐々に企業実習(支援者付き添いのグループ実習)に参加される利用者さんが増えてきています。

開所当初、就労継続支援B型事業所では実習を希望する利用者さんはいらっしゃいませんでした。ただ、一緒に活動している就労移行支援事業所利用者の日々の取り組みに刺激を受けたのか、実習という漠然としたイメージが具体化されてきたのか、実習に対するハードルが彼らのなかで少しずつですが低くなったような気がします。確かに今すぐに港第二育成園就労継続支援B型事業所から就労という道は困難です。しかし、当事業所の就労継続支援B型利用者の平均年齢はまだ25歳!若いです!!就労を諦めていない利用者も数名いらっしゃいます。

月1回の行事参加を通して社会性を広げ、作業活動で達成感を持って日々の生活を送る『よく働き、そしてよく遊ぶ』をモットーに取り組んできましたが、今年度は希望があれば企業でのグループ実習や就職を前提とした単独実習にも、どんどんと挑戦していきます。『就職を諦めていない就労継続支援B型事業所』として少しずつですが着実に活動していきたいと思

っております。もちろん就労移行支援事業の真似事をするつもりはありません。就労が目標ではない方もたくさんおられます。就労支援の他にも『出来ないこと』にどんなサポートが必要なのか?それをカバーできる『出来ること(得意な事)』は何なのか?をしつかりと見極め、利用者さんの“強み”に目を向けること(ストレングス視点)を忘れずに利用者さんが個々の生活面や作業面の課題をクリアーできるような支援に努めて参りたいと思います。利用者さんにとって港第二育成園が楽しくて充実した1日を過ごせる場所であるように職員一同努力してまいりますので、どうぞこれからもご指導・ご鞭撻を賜わりますよう宜しくお願い致します。



### 働く場としてのワークスいけじま

ワークスいけじま  
管理者 十川 知巳

ワークスいけじまに管理者として赴任して4月で3年目を迎えました。この2年間に1名の利用者様が別の施設に移られ、1名の利用者様がお亡くなりになりました。また職員も私以外の職員は全て入れ替わっ



てしまいました。定員20名のいけじまは現在18名で65歳から40歳の利用者様が毎日、仕事をするために通われています。平均年齢約50歳の利用者様ですが、まだまだ元気に一生懸命仕事を頑張り、働くことに生きがいを感じておられると思います。

スタッフは「企業に代わる働く場として」を基本により多くのそしてよりいろいろな仕事に取り組むことができるよう心がけています。検品、納期に追われる毎日ですがスタッフも一緒に頑張っております。

最後にワークスいけじまは、現在18名の利用者様が通われておりますが、定員には2名の空きがある状況です。興味ございましたらワークスいけじまの方までご連絡をいただければと思います。よろしくお願ひいたします。

